

「立ち直る力を信じて」

小田原市立泉中学校

三年 加藤 まい

みなさん最近はどんなニュースを耳にしますか。私は犯罪による悲しいニュースを耳にすることが多くあります。そこで私は、今まであまり目を向けてこなかった犯罪の事について調べてみました。

まず、犯罪には様々な種類があります。暴力犯罪、財産犯罪、薬物犯罪、組織犯罪、社会犯罪、その他様々な犯罪。このような犯罪をおこす人にはどのような要因があるのでしょうか。一般的には性格や精神的問題などの個人的な要因、家庭環境などの環境的要因、経済的格差などの社会的要因、再犯の要因などがあります。ですが犯罪の背景には様々な要因が複雑に絡み合っており、一概に原因を断定することはできません。

このように犯罪の事について調べてみて、私の中で「犯罪などの過ちを犯してしまっても立ち直り、やり直すことはできるのだろうか」という新たな疑問が生まれました。

私はこれまで犯罪をした人はそれなりの罰を受けて、社会で普通に暮らすのは難しいと思っていました。ですが、ある時にインターネットを通じて、更生しようとする犯罪者の人たちが更生できるように通う「更生保護施設」についての動画を見ました。その動画には、更生しようとする犯罪者が、社会にもどるための指導をうけ、もう一度人生をやり直すとする様子がうつしだされていて、私は強く心を打たれました。

人は時に道を間違えることがある。でも、そこからやり直そうとする力を持っている。それを多くの人信じ、様々な形で支えてくれる社会の存在があるので、罪を犯してしまった人も立ち直ることができるのではないのでしょうか。また、罪を犯してしまった人も

更生を目指すには、過去を乗りこえ、社会に再び受け入れられるための多くの努力が必要です。例えば過去の自分と向き合い自分が犯したことの重大さを理解することや犯してしまったことの償いをうけること、過去の自分を変えるために新しい価値観と生き方を学ぶなどたくさんあります。これらの事を一つ一つしっかりと向き合い、自分の意志を行動で示すことが大切だと思います。犯罪を犯すことはとても悪い事です。犯してしまったことは変えられません。ですが一生悪い人のままではないかもしれません。しっかりと罪を償い、自分の意志から更生し、やり直すことができ、人が増えれば、犯罪をする要因の再犯の要因に関係し犯罪をする人が減るはずです。だからこそ私たちは、犯罪を犯してしまい更生を目指す人を信じ、支えてあげることがとても大切だと思います。近年では少しずつ犯罪件数が増加しています。社会を明るくするための取り組みが進み犯罪により悲しむ人が少

少しでも減ってほしいことを願っています。